

「新京都市観光振興推進計画」の策定について

～ゆとり うるおい 新おこしやすプラン21～

京都市では、市民自らが京都に誇りを持ち、快適に暮らすことのできるまちを目指して、平成12年に「観光客5千万人構想」を宣言し、平成13年に策定した「京都市観光振興推進計画～おこしやすプラン21～」に基づき、これまで「京都・花灯路」の開催や「界わい観光」の振興など、多彩な観光政策に積極的に取り組んで参りました。その結果、平成16年の入洛観光客数が4,554万人と4,500万人を突破し、その経済波及効果は1兆円を超えるなど、大きな成果を挙げることができました。

この度、構想の総仕上げを図るべく、平成22年までの5年間を取組期間とする「新京都市観光振興推進計画～ゆとり うるおい 新おこしやすプラン21～」を策定しました。

「心の時代」である21世紀に当たり、日本人の心のふるさと・京都を国を挙げて守り生かす「京都創生」の取組を進め、自然や文化、景観など京都の奥深い魅力を国内外の多くの方々に満喫していただくためにも、観光をこれまで以上に都市経営上の重要な政策と位置付け、本計画を着実に実行し、オール京都による観光振興を推進して参ります。

1 名 称

新京都市観光振興推進計画 ～ゆとり うるおい 新おこしやすプラン21～

2 計画の対象期間

平成18年1月から平成22年12月まで

3 特 徴

(1) オール京都の計画

京都市はもとより、京都府、京都商工会議所等との共同事業についても記載し、これまでになかった「オール京都の計画」とした。具体的施策においても事業主体を明記し相互の連携を取りながら目標達成を図る。

(2) 「京都からの旅の提案」と「5つの宣言」で国内外にアピール

今日の旅の現状に対する「京都からの旅の提案」と併せ、目標を分かりやすく示し、その実現に向けた決意を広く国内外に伝える「観光振興5つの宣言」を掲げた。

(3) 数値目標、優先順位を付け、成果を明確化

成果を明確化するため、分野ごとに達成すべき数値目標、年次目標を可能な限り設定した。

また、実効性を高めるため、重点的かつ優先的に取り組むべき21施策を戦略的施策と位置付け、着実に推進すべき他の100施策を推進施策として掲げた。

（４）環境を基軸とした観光振興

地球温暖化防止に関する「京都議定書」採択の地として、環境共生型都市・京都を推進する観点から計画を策定した。

４ 計画の主な構成

（１）「京都からの旅の提案」（抄）

京都は、それぞれの地域一つ一つが、他の観光都市１市に匹敵するほどの優れた観光の魅力を有している。観光客の方々に、市内それぞれの地域・界わいを時間をかけてじっくりと、ゆっくりと巡る「ゆとりの旅」を、京都から提案する。

（２）「観光振興５つの宣言」

- I ５０００万人観光都市の確かな実現を目指します
- II 脱クルマ観光を推進します
- III 観光客と市民の双方にとって、快適で満足度の高いまちづくりを目指します
- IV 観光立国・日本の拠点都市として、外国人観光客誘致を牽引します
- V オール京都の観光振興体制づくりを行います

（３）２１の戦略的施策

「京都からの旅の提案」及び「観光振興５つの宣言」を基に、４つの分野を設定した。特に重点的に取り組む「京都おこしやす大学（仮称）」の開設をはじめとする２１施策を戦略的施策と位置付けている。

（４つの分野と主な施策）

<１ 入洛観光客数５０００万人の実現に向けて>

京都おこしやす大学（仮称）の開設…京都府・京都商工会議所・（社）京都市観光協会等と共同

<２ 受入環境の整備に向けて>

総合観光案内所の整備…京都府・京都商工会議所・（社）京都府観光連盟・（社）京都市観光協会等と共同

<３ 外国人観光客の誘致に向けて>

海外情報拠点の設置…京都国際観光客誘致推進協議会等と共同

<４ 持続可能な観光振興に向けて>

オール京都の体制づくりの推進…京都府・京都商工会議所・（社）京都府観光連盟・（社）京都市観光協会等と共同

（４）１００の推進施策

「５０００万人観光都市・京都の実現」をはじめ、目標達成のためには、戦略的施策のほかにも多く取組が不可欠である。このため前計画からの継続事業を含め、着実に推進すべき施策に関しては推進施策と位置付け、１００の施策を掲げる。

（４つの分野別の推進施策数）

- 入洛観光客数５０００万人の実現に向けて<４４施策>
- 受入環境の整備に向けて<２８施策>
- 外国人観光客の誘致に向けて<１８施策>
- 持続可能な観光振興に向けて<１０施策>

5 策定経過

新たな観光振興推進計画の策定に当たっては、学識経験者をはじめ、京都市、京都府、京都商工会議所、(社)京都府観光連盟、(社)京都市観光協会などの観光関連団体、市民公募委員の参画を得て、オール京都の体制による「新京都市観光振興推進計画策定委員会」を平成17年6月27日に設置し、検討を進めた。

<添付資料>○新京都市観光振興推進計画 概要版（パンフレット）

○新京都市観光振興推進計画 本冊

○新京都市観光振興推進計画 資料編（策定までの会議録）

(新京都市観光振興推進計画策定委員会名簿)

顧問	鷺頭 誠	国土交通省総合観光政策審議官（～H17. 8. 1）
顧問	柴田 耕介	国土交通省総合観光政策審議官（H17. 8. 2～）
顧問	梶本 頼兼	京都市長
顧問	山田 啓二	京都府知事
顧問	村田 純一	京都商工会議所会頭
顧問	道端 進	（社）京都市観光協会会長
顧問	柏原 康夫	（社）京都府観光連盟会長
（敬称略）		
委員	市田ひろみ	おこしやす京都委員会委員長
委員	小畑 剛	（社）京都府観光連盟専務理事
委員	孔 怡	パーソナリティー
委員	小堀 脩	京都商工会議所専務理事
委員	島田 與三右衛門	京都市公営企業管理者（交通局長）
委員	清水 宏一	京都市観光政策監
委員	鈴木富美子	京都新聞社編集委員
委員	須田 寛	観光立国推進戦略会議座長代理
委員	関根 仁美	市民公募委員
委員	田中 誠二	大和学園副理事長（外客部会長）
委員	田中 英俊	関西広域連携協議会事務局長
委員	辻本 泰弘	京都府商工部長
委員	土居 好江	NPO法人遊悠舎京すずめ理事長
委員	長澤 香静	京都仏教会事務局長
委員	中西 勤	京都府旅館生活衛生同業組合理事長
委員	中野 誠二	市民公募委員
委員	奈良平博史	国土交通省近畿運輸局企画振興部長（～H17. 8. 14）
委員	西口 光博	龍谷大学経営学部教授（5000 万人部会長）
委員	坂野 公治	国土交通省近畿運輸局企画振興部長（H17. 8. 15～）
委員	平井 義久	京都物産出品協会会長
委員	平瀬 力	（社）京都市観光協会専務理事
委員	廣川 勝美	古都の森・観光文化協会理事長
委員	福永 晃三	京都商工会議所観光産業特別委員会委員長
委員	光井 正人	日本放送協会京都放送局局長
委員	宗田 好史	京都府立大学人間環境学部助教授
（座長代理兼受入環境部会長）		
委員	山岡 祐子	白川書院取締役副社長
委員	山上 徹	同志社女子大学現代社会学部教授（座長）
委員	吉田 忠嗣	（社）京都市観光協会総務委員会特別部会座長
委員	李 容淑	（株）リンカイ取締役社長
（五十音順・敬称略）		